

ワオキツネザル

ワオキツネザルは、暖かいマダガスカル島に生息しています。代謝が悪く体温を上げるのが苦手なため、太陽の光を浴びるなどして体を温めます。

去年よりも寒さを増した須坂市動物園では、ストーブ台で暖まる様子が見られます。ストーブの正面で暖まる個体もいれば、ストーブ台の上に乗る個体もいます。さらに寒くなると、ストーブの上に全頭が集合し

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



て、「ワオ団子」が現れますよ—写真。

ワオキツネザルの特徴の一つが、白黒のしま模様の尻尾。匂いを振りまいて自分の居場所を知らせたり、

みんな集まれ「ワオ団子」

木から木へのジャンプや、細い木の上を歩いたりするときにはバランスをとったりします。また、冬は、マブラー代わりに自分の体に巻き付けたり、他の個体に巻き付けて温めあったりする姿も見られます。

寒い日ならではの行動を見られるのは今しかありません。暖かくなると、岩場の上ったり、遊び道具を使う姿も見られます。ぜひ、春夏秋冬それぞれの動物の様子を見に、ご来園ください。

